

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月11日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 豊和銀行
コード番号 8559 URL <http://www.howabank.co.jp/>代表者 (役職名) 取締役頭取
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長
四半期報告書提出予定日 平成21年11月20日
配当支払開始予定日 —(氏名) 安藤 英徳
(氏名) 牧野 郡二
特定取引勘定設置の有無 無

TEL 097-534-2611

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 中間純利益 | |
|----------|-------|-------|--------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年9月中間期 | 6,209 | △16.8 | △1,355 | — | △1,186 | — |
| 20年9月中間期 | 7,464 | 8.6 | △1,259 | — | △1,198 | — |

| | 1株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後1株当たり中間純利益 |
|----------|------------|-------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年9月中間期 | △20.03 | — |
| 20年9月中間期 | △20.23 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 | 連結自己資本比率 (国内基準) |
|----------|---------|--------|--------|----------|--------------------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 | % |
| 21年9月中間期 | 475,105 | 14,543 | 3.0 | △60.66 | 7.81 |
| 21年3月期 | 464,929 | 12,497 | 2.6 | △95.03 | 8.24 |

(参考) 自己資本 21年9月中間期 14,406百万円 21年3月期 12,370百万円

(注1)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

(注2)「連結自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 22年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 22年3月期 (予想) | — | — | — | — | — |

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注)当行は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-------|------|---|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 12,200 | △11.3 | 20 | — | 380 | 278.0 | 1.70 |

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年9月中間期 | 59,444,900株 | 21年3月期 | 59,444,900株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年9月中間期 | 212,466株 | 21年3月期 | 206,104株 |
| ③ 期中平均株式数(中間期) | 21年9月中間期 | 59,234,326株 | 20年9月中間期 | 59,257,276株 |

(個別業績の概要)

1. 平成22年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前年中間期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 中間純利益 | |
|----------|-------|-------|--------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年9月中間期 | 6,071 | △17.1 | △1,384 | — | △1,194 | — |
| 20年9月中間期 | 7,330 | 9.2 | △1,274 | — | △1,201 | — |

| 1株当たり中間純利益 | |
|------------|--------|
| | 円 銭 |
| 21年9月中間期 | △20.16 |
| 20年9月中間期 | △20.28 |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 | 単体自己資本比率 (国内基準) |
|----------|---------|--------|--------|----------|--------------------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 | % |
| 21年9月中間期 | 474,756 | 14,313 | 3.0 | △62.24 | 7.70 |
| 21年3月期 | 464,583 | 12,285 | 2.6 | △96.47 | 8.14 |

(参考) 自己資本 21年9月中間期 14,313百万円 21年3月期 12,285百万円

(注1)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

(注2)「単体自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

2. 平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-------|------|---|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 12,000 | △11.2 | 20 | — | 380 | 284.3 | 1.67 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業務予想に関する定性的情報をご覧ください。

また、通期の優先株式及び普通株式の配当につきましては、業績の進捗を見ながら判断することとし、現段階においては未定とさせていただきます。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

(A 種優先株式)

| (基準日) | 1 株当たり配当金 | | | | |
|------------------|-----------|----------|----------|-------|------|
| | 第 1 四半期末 | 第 2 四半期末 | 第 3 四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21 年 3 月期 | - | 0 00 | - | 0 00 | 0 00 |
| 22 年 3 月期 | - | 0 00 | ***** | ***** | |
| 22 年 3 月期 (予想) | ***** | ***** | - | - | - |

(B 種優先株式)

| (基準日) | 1 株当たり配当金 | | | | |
|------------------|-----------|----------|----------|-------|------|
| | 第 1 四半期末 | 第 2 四半期末 | 第 3 四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21 年 3 月期 | - | 0 00 | - | 0 00 | 0 00 |
| 22 年 3 月期 | - | 0 00 | ***** | ***** | |
| 22 年 3 月期 (予想) | ***** | ***** | - | - | - |

(C 種優先株式)

| (基準日) | 1 株当たり配当金 | | | | |
|------------------|-----------|----------|----------|-------|------|
| | 第 1 四半期末 | 第 2 四半期末 | 第 3 四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21 年 3 月期 | - | 0 00 | - | 0 00 | 0 00 |
| 22 年 3 月期 | - | 0 00 | ***** | ***** | |
| 22 年 3 月期 (予想) | ***** | ***** | - | - | - |

(注) 当行は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当中間連結会計期間における国内経済は、失業率が過去最高水準となる等雇用情勢が一段と厳しさを増しており、また、企業収益は依然として大幅な減少が続いている一方、輸出・生産・個人消費については政府の経済対策の効果により持ち直しの動きがみられます。今後、在庫調整の一巡や経済対策の効果に加え、対外経済環境の改善により、景気は持ち直しに向かうことが期待される反面、世界的な金融危機の影響、世界景気の下振れ懸念、円高の進行、物価の下落等により景気が下振れするリスクがあります。

金融面では、国際的には平成21年9月の金融サミットにおいて銀行資本の質と量の改善に向けたルール作りとその実施が採択され、国内では政権交代に伴う新たな金融政策の動き等がみられ、今後の進展によっては金融機関の将来の収益面・財務面に重大な影響を及ぼしかねない状況となっております。

当行グループの営業基盤であります大分県経済も、国内経済と同様に、雇用情勢は悪化の一途をたどっている一方、輸出・生産・個人消費については持ち直しの動きがみられます。今後、生産等の持ち直しが期待される一方、雇用情勢については一段の悪化が懸念され、大分県内の景気の先行きは不透明な状況が続くとみられます。

このような経営環境のもと、当行グループの当中間連結会計期間の連結経営成績は以下のとおりとなりました。

連結経常収益は、6,209百万円（前中間連結会計期間比1,255百万円減、16.8%減）となりました。これは、資金需要低迷により貸出金利息が同327百万円減少するとともに、有価証券の売却益が前年同期を大きく下回る実績となったことが影響しております。

連結経常費用は、7,565百万円（前中間連結会計期間比1,158百万円減、13.2%減）となりました。これは、前年度に予防的な引当金の積み増しを行ったことに加え、政府の経済対策の効果により取引先の業況悪化が沈静化していることから、経常費用に係る信用コストが同1,923百万円減少したことが影響しております。

この結果、連結経常損失は、1,355百万円（前中間連結会計期間は連結経常損失1,259百万円）、連結中間純損失は1,186百万円（前中間連結会計期間は連結中間純損失1,198百万円）となり、中間連結会計期間としては2年連続で最終損益が赤字となっております。

なお、当行グループは銀行業以外に一部でクレジットカード業等の事業を営んでおりますが、それらの事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の連結財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末比10,175百万円増加し、475,105百万円となりました。純資産は前連結会計年度末比2,045百万円増加し、14,543百万円となりました。

主要勘定につきましては、預金は公金を中心に増加し、前連結会計年度末比8,240百万円増加の447,524百万円となりました。

貸出金は、資金需要の低迷から、前連結会計年度末比13,602百万円減少し、332,003百万円となりました。

有価証券は、資金運用力の強化を目的として、前連結会計年度末比18,622百万円増加し、93,351百万円となりました。

この結果、当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが23,996百万円、投資活動によるキャッシュ・フローは△16,649百万円、財務活動によるキャッシュ・フローは△0百万円となり、現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は、前連結会計年度末比7,345百万円増加の37,893百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年8月5日に公表いたしました平成22年3月期通期業績予想の修正はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

「連結財務諸表における子会社及び関連会社の範囲の決定に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第22号平成20年5月13日）が平成20年10月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、当中間連結会計期間から同適用指針を適用しております。

これによる中間連結貸借対照表等に与える影響はありません。

5. 中間連結財務諸表
 (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当中間連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度の要約 連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|--------------------|----------------------------|---------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 現金預け金 | 43,401 | 38,731 |
| 商品有価証券 | — | 1 |
| 有価証券 | 93,351 | 74,729 |
| 貸出金 | 332,003 | 345,606 |
| 外国為替 | 123 | 138 |
| その他資産 | 2,689 | 2,807 |
| 有形固定資産 | 8,367 | 8,470 |
| 無形固定資産 | 131 | 161 |
| 繰延税金資産 | 1,614 | 1,617 |
| 支払承諾見返 | 1,540 | 1,793 |
| 貸倒引当金 | △8,118 | △9,127 |
| 資産の部合計 | 475,105 | 464,929 |
| 負債の部 | | |
| 預金 | 447,524 | 439,283 |
| 借入金 | 352 | 339 |
| 外国為替 | 1 | — |
| 社債 | 7,000 | 7,000 |
| その他負債 | 2,390 | 2,230 |
| 賞与引当金 | 106 | 103 |
| 退職給付引当金 | 292 | 326 |
| 睡眠預金払戻損失引当金 | 112 | 91 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,240 | 1,262 |
| 支払承諾 | 1,540 | 1,793 |
| 負債の部合計 | 460,561 | 452,432 |
| 純資産の部 | | |
| 資本金 | 12,495 | 12,495 |
| 資本剰余金 | 1,350 | 1,350 |
| 利益剰余金 | 236 | 1,391 |
| 自己株式 | △68 | △68 |
| 株主資本合計 | 14,014 | 15,169 |
| その他有価証券評価差額金 | △1,258 | △4,482 |
| 土地再評価差額金 | 1,650 | 1,682 |
| 評価・換算差額等合計 | 392 | △2,799 |
| 少数株主持分 | 136 | 127 |
| 純資産の部合計 | 14,543 | 12,497 |
| 負債及び純資産の部合計 | 475,105 | 464,929 |

(2) 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) |
|----------------|--|--|
| 経常収益 | 7,464 | 6,209 |
| 資金運用収益 | 5,454 | 5,097 |
| (うち貸出金利息) | 4,770 | 4,442 |
| (うち有価証券利息配当金) | 573 | 604 |
| 役務取引等収益 | 737 | 592 |
| その他業務収益 | 861 | 310 |
| その他経常収益 | 410 | 209 |
| 経常費用 | 8,723 | 7,565 |
| 資金調達費用 | 919 | 749 |
| (うち預金利息) | 818 | 649 |
| 役務取引等費用 | 530 | 526 |
| その他業務費用 | 148 | 135 |
| 営業経費 | 3,107 | 3,173 |
| その他経常費用 | 4,018 | 2,980 |
| 経常損失(△) | △1,259 | △1,355 |
| 特別利益 | 362 | 242 |
| 固定資産処分益 | 54 | 0 |
| 償却債権取立益 | 230 | 160 |
| 受取損害賠償金 | 75 | — |
| 受取和解金 | — | 82 |
| その他の特別利益 | 1 | — |
| 特別損失 | 35 | 65 |
| 固定資産処分損 | 26 | 6 |
| 減損損失 | 8 | 58 |
| その他の特別損失 | 0 | 0 |
| 税金等調整前中間純損失(△) | △932 | △1,179 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 18 | 16 |
| 法人税等調整額 | 239 | △18 |
| 法人税等合計 | 258 | △2 |
| 少数株主利益 | 7 | 9 |
| 中間純損失(△) | △1,198 | △1,186 |

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) |
|---------------|--|--|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 前期末残高 | 12,495 | 12,495 |
| 当中間期変動額 | | |
| 当中間期変動額合計 | — | — |
| 当中間期末残高 | 12,495 | 12,495 |
| 資本剰余金 | | |
| 前期末残高 | 1,350 | 1,350 |
| 当中間期変動額 | | |
| 当中間期変動額合計 | — | — |
| 当中間期末残高 | 1,350 | 1,350 |
| 利益剰余金 | | |
| 前期末残高 | 1,309 | 1,391 |
| 当中間期変動額 | | |
| 中間純損失(△) | △1,198 | △1,186 |
| 自己株式の処分 | △1 | △0 |
| 土地再評価差額金の取崩 | △17 | 31 |
| 当中間期変動額合計 | △1,217 | △1,154 |
| 当中間期末残高 | 91 | 236 |
| 自己株式 | | |
| 前期末残高 | △68 | △68 |
| 当中間期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | 2 | 0 |
| 当中間期変動額合計 | 1 | △0 |
| 当中間期末残高 | △67 | △68 |
| 株主資本合計 | | |
| 前期末残高 | 15,087 | 15,169 |
| 当中間期変動額 | | |
| 中間純損失(△) | △1,198 | △1,186 |
| 自己株式の取得 | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | 0 | 0 |
| 土地再評価差額金の取崩 | △17 | 31 |
| 当中間期変動額合計 | △1,216 | △1,155 |
| 当中間期末残高 | 13,871 | 14,014 |

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) |
|-----------------------|--|--|
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 前期末残高 | △2,387 | △4,482 |
| 当中間期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） | △1,436 | 3,223 |
| 当中間期変動額合計 | △1,436 | 3,223 |
| 当中間期末残高 | △3,824 | △1,258 |
| 土地再評価差額金 | | |
| 前期末残高 | 1,666 | 1,682 |
| 当中間期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） | 17 | △31 |
| 当中間期変動額合計 | 17 | △31 |
| 当中間期末残高 | 1,684 | 1,650 |
| 評価・換算差額等合計 | | |
| 前期末残高 | △720 | △2,799 |
| 当中間期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） | △1,419 | 3,191 |
| 当中間期変動額合計 | △1,419 | 3,191 |
| 当中間期末残高 | △2,139 | 392 |
| 少数株主持分 | | |
| 前期末残高 | 121 | 127 |
| 当中間期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） | 7 | 9 |
| 当中間期変動額合計 | 7 | 9 |
| 当中間期末残高 | 129 | 136 |
| 純資産合計 | | |
| 前期末残高 | 14,488 | 12,497 |
| 当中間期変動額 | | |
| 中間純損失（△） | △1,198 | △1,186 |
| 自己株式の取得 | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | 0 | 0 |
| 土地再評価差額金の取崩 | △17 | 31 |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） | △1,411 | 3,201 |
| 当中間期変動額合計 | △2,628 | 2,045 |
| 当中間期末残高 | 11,860 | 14,543 |

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純損失(△) | △932 | △1,179 |
| 減価償却費 | 158 | 145 |
| 減損損失 | 8 | 58 |
| 貸倒引当金の増減(△) | △17,876 | △1,009 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △17 | 3 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △35 | △34 |
| 睡眠預金払戻損失引当金の増減(△) | 8 | 20 |
| 資金運用収益 | △5,454 | △5,097 |
| 資金調達費用 | 919 | 749 |
| 有価証券関係損益(△) | △236 | 1,238 |
| 有形固定資産処分損益(△は益) | △27 | 6 |
| 貸出金の純増(△)減 | 22,489 | 13,602 |
| 預金の純増減(△) | △1,420 | 8,240 |
| 借入金の純増減(△) | △6 | 13 |
| 預け金(日銀預け金を除く)の純増(△)減 | 1,218 | 2,675 |
| コールローン等の純増(△)減 | 1 | — |
| 外国為替(資産)の純増(△)減 | △23 | 14 |
| 外国為替(負債)の純増減(△) | △0 | 1 |
| 資金運用による収入 | 5,466 | 5,012 |
| 資金調達による支出 | △669 | △579 |
| その他 | 76 | 111 |
| 小計 | 3,647 | 23,995 |
| 法人税等の還付額 | 40 | 27 |
| 法人税等の支払額 | △30 | △26 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,657 | 23,996 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の取得による支出 | △55,182 | △41,329 |
| 有価証券の売却による収入 | 31,065 | 6,750 |
| 有価証券の償還による収入 | 30,390 | 18,004 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △31 | △79 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △82 | △1 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 124 | 6 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 6,284 | △16,649 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 配当金の支払額 | △0 | △0 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 自己株式の売却による収入 | 0 | 0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △0 | △0 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 9,942 | 7,345 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 38,565 | 30,547 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 48,508 | 37,893 |

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

連結会社は銀行業以外に一部でクレジットカード等の事業を営んでおりますが、それらの事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

[所在地別セグメント情報]

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[国際業務経常収益]

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

6. 中間財務諸表
 (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当中間会計期間末 (平成21年9月30日) | 前事業年度の要約 貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------------|--------------------------|-----------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 現金預け金 | 43,399 | 38,729 |
| 商品有価証券 | — | 1 |
| 有価証券 | 92,994 | 74,371 |
| 貸出金 | 332,304 | 345,903 |
| 外国為替 | 123 | 138 |
| その他資産 | 2,292 | 2,420 |
| 有形固定資産 | 8,361 | 8,464 |
| 無形固定資産 | 131 | 161 |
| 繰延税金資産 | 1,566 | 1,566 |
| 支払承諾見返 | 1,540 | 1,793 |
| 貸倒引当金 | △7,957 | △8,968 |
| 資産の部合計 | 474,756 | 464,583 |
| 負債の部 | | |
| 預金 | 447,566 | 439,326 |
| 借入金 | 352 | 339 |
| 外国為替 | 1 | — |
| 社債 | 7,000 | 7,000 |
| その他負債 | 2,229 | 2,054 |
| 未払法人税等 | 29 | 35 |
| その他の負債 | 2,200 | 2,018 |
| 賞与引当金 | 106 | 102 |
| 退職給付引当金 | 292 | 326 |
| 睡眠預金払戻損失引当金 | 112 | 91 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,240 | 1,262 |
| 支払承諾 | 1,540 | 1,793 |
| 負債の部合計 | 460,442 | 452,297 |
| 純資産の部 | | |
| 資本金 | 12,495 | 12,495 |
| 資本剰余金 | 1,350 | 1,350 |
| 資本準備金 | 1,350 | 1,350 |
| 利益剰余金 | 143 | 1,306 |
| その他利益剰余金 | 143 | 1,306 |
| 繰越利益剰余金 | 143 | 1,306 |
| 自己株式 | △68 | △68 |
| 株主資本合計 | 13,921 | 15,084 |
| その他有価証券評価差額金 | △1,258 | △4,482 |
| 土地再評価差額金 | 1,650 | 1,682 |
| 評価・換算差額等合計 | 392 | △2,799 |
| 純資産の部合計 | 14,313 | 12,285 |
| 負債及び純資産の部合計 | 474,756 | 464,583 |

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

| | 前中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) | 当中間会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) |
|---------------|--|--|
| 経常収益 | 7,330 | 6,071 |
| 資金運用収益 | 5,380 | 5,017 |
| (うち貸出金利息) | 4,701 | 4,366 |
| (うち有価証券利息配当金) | 568 | 600 |
| 役務取引等収益 | 683 | 549 |
| その他業務収益 | 861 | 309 |
| その他経常収益 | 405 | 194 |
| 経常費用 | 8,605 | 7,456 |
| 資金調達費用 | 918 | 748 |
| (うち預金利息) | 818 | 649 |
| 役務取引等費用 | 530 | 526 |
| その他業務費用 | 147 | 133 |
| 営業経費 | 3,036 | 3,097 |
| その他経常費用 | 3,972 | 2,949 |
| 経常損失(△) | △1,274 | △1,384 |
| 特別利益 | 361 | 242 |
| 特別損失 | 35 | 65 |
| 税引前中間純損失(△) | △948 | △1,208 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 8 | 8 |
| 法人税等調整額 | 245 | △21 |
| 法人税等合計 | 253 | △13 |
| 中間純損失(△) | △1,201 | △1,194 |

(3) 中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

| | 前中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) | 当中間会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) |
|-----------------|--|--|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 前期末残高 | 12,495 | 12,495 |
| 当中間期変動額 | | |
| 当中間期変動額合計 | — | — |
| 当中間期末残高 | 12,495 | 12,495 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | | |
| 前期末残高 | 1,350 | 1,350 |
| 当中間期変動額 | | |
| 当中間期変動額合計 | — | — |
| 当中間期末残高 | 1,350 | 1,350 |
| 資本剰余金合計 | | |
| 前期末残高 | 1,350 | 1,350 |
| 当中間期変動額 | | |
| 当中間期変動額合計 | — | — |
| 当中間期末残高 | 1,350 | 1,350 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | | |
| 前期末残高 | 1,225 | 1,306 |
| 当中間期変動額 | | |
| 中間純損失(△) | △1,201 | △1,194 |
| 自己株式の処分 | △1 | △0 |
| 土地再評価差額金の取崩 | △17 | 31 |
| 当中間期変動額合計 | △1,220 | △1,162 |
| 当中間期末残高 | 5 | 143 |
| 利益剰余金合計 | | |
| 前期末残高 | 1,225 | 1,306 |
| 当中間期変動額 | | |
| 中間純損失(△) | △1,201 | △1,194 |
| 自己株式の処分 | △1 | △0 |
| 土地再評価差額金の取崩 | △17 | 31 |
| 当中間期変動額合計 | △1,220 | △1,162 |
| 当中間期末残高 | 5 | 143 |
| 自己株式 | | |
| 前期末残高 | △68 | △68 |
| 当中間期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | 2 | 0 |
| 当中間期変動額合計 | 1 | △0 |
| 当中間期末残高 | △67 | △68 |

(単位：百万円)

| | 前中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) | 当中間会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) |
|-----------------------|--|--|
| 株主資本合計 | | |
| 前期末残高 | 15,003 | 15,084 |
| 当中間期変動額 | | |
| 中間純損失(△) | △1,201 | △1,194 |
| 自己株式の取得 | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | 0 | 0 |
| 土地再評価差額金の取崩 | △17 | 31 |
| 当中間期変動額合計 | △1,219 | △1,163 |
| 当中間期末残高 | 13,784 | 13,921 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 前期末残高 | △2,387 | △4,482 |
| 当中間期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額) | △1,436 | 3,223 |
| 当中間期変動額合計 | △1,436 | 3,223 |
| 当中間期末残高 | △3,824 | △1,258 |
| 土地再評価差額金 | | |
| 前期末残高 | 1,666 | 1,682 |
| 当中間期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額) | 17 | △31 |
| 当中間期変動額合計 | 17 | △31 |
| 当中間期末残高 | 1,684 | 1,650 |
| 評価・換算差額等合計 | | |
| 前期末残高 | △720 | △2,799 |
| 当中間期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額) | △1,419 | 3,191 |
| 当中間期変動額合計 | △1,419 | 3,191 |
| 当中間期末残高 | △2,139 | 392 |
| 純資産合計 | | |
| 前期末残高 | 14,283 | 12,285 |
| 当中間期変動額 | | |
| 中間純損失(△) | △1,201 | △1,194 |
| 自己株式の取得 | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | 0 | 0 |
| 土地再評価差額金の取崩 | △17 | 31 |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額) | △1,419 | 3,191 |
| 当中間期変動額合計 | △2,638 | 2,028 |
| 当中間期末残高 | 11,644 | 14,313 |

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。